



ごみ減量・リサイクル
推進啓発キャラクター
メビウスちゃん

●編集・発行 仙台市環境局家庭ごみ減量課
●電話 214-8227

あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

こんにちは 推進員さん	1 P
深沼海岸で漂着物の組成調査を実施しました	2 P
仙台市環境局からのお知らせ 他	3 P
令和2年度活動報告書の集計結果をお知らせします	4 P

こんにちは 推進員さん

今回は、小学生の子どもたちによる「ジュニアクリーンメイト」活動を立ち上げた清水沼町内会のクリーン仙台推進員である櫻井英男さんと高橋喜美子さんにお話を伺いました。

「ジュニアクリーンメイト」とは、環境美化活動やごみ集積所の調査などを行う子どもたちのことで、清水沼町内会が独自に任命しています。任命される子どもたちには、清水沼町内会で作ったオリジナルの名札とメビウスも配られており、子どもたちが自覚をもって活動することの一助となっています。

学校の長期休業に合わせて年間8〜10回程度、クリーン仙台推進員やクリーンメイトと一緒に活動しています。最近の秋休みの活動では、中学生も参加していて、小学校を卒業しても参加したいと思えるような交流の場となっているようです。

清水沼町内会では、もともと集団資源回収に合わせ、子どもたちにごみの分別について学ぶことができる出前講座を開催していました。子どもたちへの環境教育はもちろんのこと、子どもたちが出前講座に出れば、親もついてくる。子どもたちがきちんと行動しているのを見れば、大人たちも行動するようになるだろう、という考えが「ジュニアクリーンメイト」



の創設につながった、と話す櫻井さん。出前講座の場で募集し、毎年20人前後がジュニアクリーンメイトとして活動を行っています。また、高橋さんは、ごみ集積所に掲示するポスターを子どもたちによってもらう活動は、ほかの町内会でも広まっていると話していました。

活動が根付くまでは地道な活動の継続だったとのこと。活動に興味をもってもらえるよう資料をかわいらしく作ったり、活動の後には流しそうめんなどのお楽しみ会を設け、子どもたちが楽しみながら活動できるように工夫をされています。

また、回覧を回す際などに、子ども会の協力も得ながら活動していると話されています。保護者に活動について理解していただくことはもちろん、地域の皆さんの協力も得ながら、子どもたちへ継続して働きかけることが活動のコツのようでした。

令和2年度活動報告書の集計結果をお知らせします

クリーン仙台推進員の皆さまには、年1回「活動報告書」を提出いただいております。令和2年度の活動報告書の集計結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

①クリーン仙台推進員としての活動内容とその頻度について(単位:%)

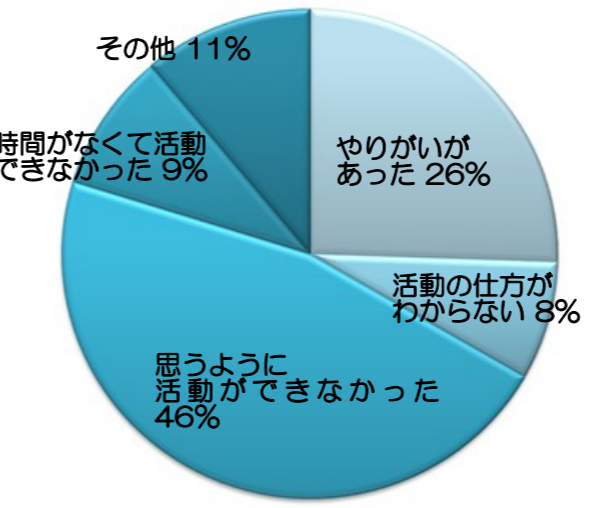
活動内容として最も多かったものは、ごみ集積所の清掃や、点検・見回りで、毎日または週数回活動していると回答した割合は、清掃が40.4%、点検・見回りが46.3%でした。常に集積所とその周辺

質問項目	毎日	週数回	月数回	年数回	なし
ア.ごみ集積所の清掃	6.1	34.3	29.4	20.6	9.6
イ.ごみ集積所の点検・見回り	11.1	35.2	33.4	16.9	3.4
ウ.ごみ集積所での分別啓発	2.1	13.5	24.0	34.3	26.1
エ.ごみ集積所の改修	1.7	4.7	12.9	55.3	25.5
オ.チラシやポスターの作成	0.9	2.1	6.0	34.5	56.5
カ.町内会報等へ環境記事掲載	1.0	2.2	10.2	38.3	48.3
キ.町内会へ報告や呼びかけ	1.7	2.6	18.1	54.5	23.1
ク.まち美化活動	2.6	6.9	17.8	45.2	27.5
ケ.不法投棄巡視パトロール	4.5	10.3	20.8	31.2	33.3
コ.環境に関する勉強会の実施	0.8	0.8	1.9	19.3	77.2

に目配りをいただいていることが、町内のみなさんが気持ちよく集積所を使い、生活環境を清潔に保つことにつながっています。

また、チラシやポスターを年数回以上作成された方が43.5%と昨年に比べ6%増えました。コロナ禍で活動に工夫がみられております。「ごみ集積所に必要に応じて「注意書」を書いて掲示するようにしている。」など地域の方の発信は即効性があります。ぜひご検討ください。

②クリーン仙台推進員として活動した感想について



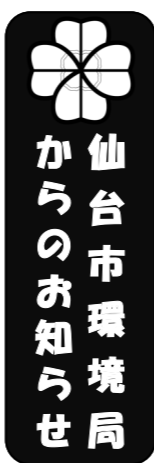
活動した感想は、「思うように活動ができなかった」と回答した割合が46%と一番多く、令和2年度はコロナ禍での活動となり、思うような活動ができなかったという声が多く寄せられました。コロナ禍でも「学童通学路のパトロールをやっており、ついでにごみ集積所の点検清掃をする。」「重荷にならない程度に活動しております。」など、できることをできる範囲で活動した方もいたようです。その他には、「新しく入居した方のごみ出しマナーが悪くて困っています。怖くて注意もままなりません。」「回収の日はず見回ってますが、とんでもないものが出ていて驚くことがあります。」など排出マナーの啓発に対してのお悩みも聞かれました。

2番目に多かったのは「やりがいがあった」で、26%でした。「ルール違反のごみ出しがあった時その都度違反であることを掲示し正しいごみの出し方をそのごみに掲示した。その結果すべてルール違反は解消された。」「令和2年度はごみ集積所全箇所の改良工事を役員によって完成させた事です。」など、地域のみなさんの協力をいただきながら目標を達成できたことが、やりがいにつながっている方が多いようです。

各区の環境事業所では、不適正排出や集積所に関するご相談をお受けし、改善へ向けたお手伝いをしています。お困りの際は、お気軽にご相談ください。

■連絡先一覧

青葉環境事業所	277-5300
宮城野環境事業所	236-5300
若林環境事業所	289-2051
太白環境事業所	248-5300
泉環境事業所	773-5300
家庭ごみ減量課	214-8227



◆まちの美化・ポイ捨て防止にご協力ください
まちなかに使い捨てマスクや飲料容器、たばこの吸い殻等のポイ捨てごみが見られます。きれいなまちを守るため、ポイ捨て防止にご協力ください。

ボランテニア清掃活動「アレマ隊」はいつでも誰でも参加できます。「キレイにし隊(拾っ)」「数えてみ隊(数える)」「考えてみ隊(考える)」の3コースの活動報告を毎年で受け付けています。また、ボランテニア清掃をされる方への地域清掃ごみ袋の配布、火ばさみの貸し出しも通年で行っています。詳しくは市ホームページをご覧ください。
(問) 家庭ごみ減量課 214-822500

◆高齢者等のごみ出し支援活動を行う団体に奨励金を交付します
高齢や障害等の理由により、「ごみ出しが困難な世帯のごみ出し支援を行う」団体に、奨励金を交付します。

申請できる団体は、町内会や老人クラブ、ボランテニア団体などの非営利な活動を行う団体です。

奨励金交付の対象となる世帯は、次の①②③のいずれかに該当する方のみで構成される世帯です。

- ①申請時に満75歳以上の方、②要介護1〜5認定を受けている方、③身体障害・療育・精神障害者保健福祉手帳のいずれ

深沼海岸で漂着物の組成調査を実施しました

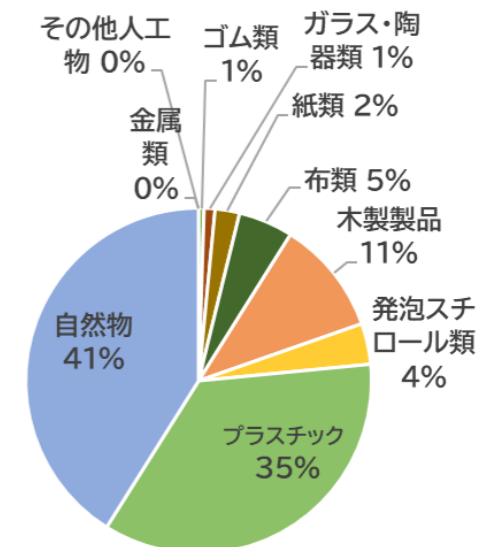
近年、海に流れ出たごみが生態系に及ぼす影響が懸念されています。家庭ごみ減量課では海に流れ着いたごみの実態を把握するために、令和3年10月に若林区の深沼海岸で漂着物の組成調査を実施しました。

1 調査手法

- ・国のガイドラインに基づき、海岸の50m×30m四方を区画し、区画内の漂着物を回収。
・回収した漂着物を10分類し、重量を測定。

2 調査結果

分類	重量kg	重量比%
プラスチック	13.9	35%
発泡スチロール類	1.5	4%
布類	2	5%
ガラス・陶器類	0.4	1%
金属類	0	0%
紙類	0.9	2%
ゴム類	0.2	1%
木製製品	4.2	11%
その他人工物	0	0%
自然物	16.1	41%
計	39.2	100%



流木などの自然物(16.1kg)に次いで、プラスチックごみ(プラスチック及び発泡スチロール)が多く回収される(15.4kg)という結果となりました。

回収したプラスチックを分けてみると、ペットボトル類や食物容器など、私たちがよく目にする身近なごみが多くみられました。

ポイ捨てをしない、マイボトルやマイスプーン、マイバッグを持ち歩くなど使い捨てプラスチックを使う機会を減らす、使用したプラスチックは正しく分別してごみに出すといった一人一人の行動の積み重ねが海洋プラスチックごみの削減につながります。暮らしの中でできることを始めてみませんか。

↓仕分け前のプラスチック類



←プラスチック製容器包装。ご飯や豆腐の容器なども

ペットボトル類→



かの交付を受けている方
●ごみ出し支援活動1回あたり140円/世帯を団体へ交付します。交付の上限金額は70,000円(半期)です。
●事業の詳細や手続きの方法などは、仙台市ホームページをご覧ください。家庭ごみ減量課へお問い合わせください。
(申請・問) 家庭ごみ減量課 214-822506

◆ペットボトルはつぶして出してください
【出し方】
ペットボトルをつぶして容量を減らすことで、より多くの資源物を一度に収集できます。効率的に収集作業を行うため、みなさまのご協力をお願いします。

ペットボトルは、キャップとラベルを外し、中を軽くすすぎ、つぶしてから、週1回の収集日に黄色の回収容器に入れてください。
【排出の際のお願い】
缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類は、種類別に分けて回収箱に入れていただく必要はありません。入りきらない場合は、袋に入れて回収容器の脇に置いてください。その際は、工場での選別作業に支障をきたすため、袋の口をしぼらないようお願いいたします。

(問) 家庭ごみ減量課 214-822507



葛岡リサイクルプラザの来館者数が200万人を達成しました

平成7年9月に開館した葛岡リサイクルプラザでは令和3年10月16日、来館者数が200万人を突破しました。ご利用いただきありがとうございます。

リサイクルプラザは、葛岡と今泉にあり、長年、市民の皆さんとともにごみ減量、リユース・リサイクルを進めてきた施設です。まだ使えるけれども不要となった家具や衣類、本などの持ち込みを受け付け、必要な方に抽選で差し上げるほか、リサイクルについての情報がたくさんある施設です(持ち込みの際には事前にご連絡ください)。

これからも市民の方々がリサイクル・リユースを実践できる身近な施設として、皆さまのご利用をお待ちしております。

○葛岡リサイクルプラザ

住所：青葉区郷六字葛岡57-1 電話番号：277-8573

○今泉リサイクルプラザ

住所：若林区今泉字上新田103 電話番号：289-6401

